

劇でつたえる 保育シリーズ 年少 12月

「ゆく年くる年」

第一話 「誕生日がない!?!」

第二話 「なにをピカピカにしようかな」

(上演時間 約20分)

作・清田明世

● 登場人物

まさる (年少) ちよつと引つ込み思案な男の子。
ゆうき (年少) まっすぐな性格の男の子。
げんたろう (年少) 面白いことが好きな男の子。何でもリズムや歌にする。
ちほ (年少) ちよつとおませな、先進的な女の子。
さとみ (年少) 後ずさり気味だが、優しい女の子。
ナレーター 先生役

● 今月のテーマについて

賑やかに過ぎていく毎日。楽しいことやぶつかり合うことがいっぱい毎日。次に来る日も同じで、そんな日々がいつまでもいつまでも続いていくと思っていたら…。子どもたちにとって最大のイベント「誕生日」をめぐる事件が、発覚します。楽しみにしていたげんたろうの誕生日がない!?! 普通が続いていくと思っていたカレンダーをめくり、次がないという衝撃に、子どもたちは…。

「ゆくとくる」を感じながら、なんだかワクワクする気持ち。

それは、子どもが未来を希望に変えている証かもしれません。一等賞も、ピカピカも、褒められることも大好きな子どもたち。年末の大掃除は、子どもたちにとってのスペシャルピカピカ大作戦です。

● 子ども目線で

「年末です。大掃除をしましょう」と声をかけると、子どもはそれなりに目の前のことを楽しんでやるかもしれませんが。そこを敢えて、子どもたちの自主性を育む機会と捉えてみました。やるやらない、何を選ぶか、どう考えるかも、子ども次第。最後に「スイッチ」を入れてあげるのが行事を全うする大人の役目。ピカピカになる物より、ピカピカの子どもの気持ちが見たい。(そんなことを言うのが現場で大変な思いをされる大人の皆さんからお叱りを受けるかもしれませんが。)劇をしなくても、この脚本の中の台詞のいくつかが子どもたちを動かすスイッチになってくれたら嬉しいなと思います。

ゆうき

げんたろうは？

げんたろう

へっへーん。ぼくはねー。

げんたろう

アーツ!!

ちほ

えっ、なに!?

げんたろう

た、た、た…

ちほ

タ、タ、タ？

げんたろう

誕生日が…ないっ！

ゆうき

ナイ？

げんたろう

ない、ない、ない！誕生日がない！

さとみ

ほんとだ…。

まさる

12月の次が、ない…。

げんたろう

エーン。誕生日がないー。いつも12月の次にあったのにー。

ナレーター

みんな、どうしたの？

ちほ

先生、大変！げんたろうくんの誕生日がなくなったの。

さとみ

いつも12月の次だったんだって。それがいないの。12月でカレンダーが終わりになってるの。

みんなが話した後、みんなで、げんたろうを見る。

得意げに胸をはる。

げんたろう、サササッとカレンダーのところにいき、カレンダーをめくる。

悲鳴のような大声を出す

ビックリして駆け寄る

カレンダーの12月をめくるが、次月がない。

12月を何度めめくる

泣きべそをかく

舞台に向かって声をかける